

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第16号

平成17年2月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

SEITOKU

聖徳学園ホームページ
http://www.seitoku.ac.jp/

聖徳フラッシュ

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属高等学校
- 聖徳大学附属聖徳高等学校
- 聖徳大学附属中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

INDEX

- 主なトピックス
- 全国高校駅伝二年連続出場
 - インクビュー(小川監督に聞く)
 - 「思いがチームを強くする」
 - 公立小学校教員採用試験
 - 最終合格者90名
 - 聖徳大学サテライトキャンパス
 - SDA賞 贈賞式
 - 伝統行事!第48回グループ研究発表会
 - (幼児教育専門学校)
 - クリスマスコンサート開催
 - (附属中学校・高等学校)
 - 「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール
 - 『最優秀校』三年連続受賞(附属小学校)
 - 陳建一先生が紹介する冬のあつたメニュー
 - いつもお仕事をありがとう(附属第三幼稚園)

聖徳高	1
学園	2-3
大学院・大学・短大	3
幼児教育専門学校	4
附属中・高	4
聖徳中・高	4
小学校	5
幼稚園	6-7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISOをダブル取得

聖徳学園は、日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。高品質でより良い教育を可能にするシステムを作り上げ、また地球環境を守る管理システムを整え、それが国際機関の定めた規格で認証を得た今、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を開始します。

ISO9001
(教育の質マネジメントシステム)

ISO14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集
「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

企画渉外課まで
FAX番号: 047-363-1401
Eメールアドレス: pub@seitoku.ac.jp

全国高校駅伝二年連続出場!

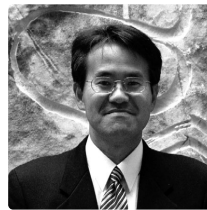
インタビュー 小川監督に聞く

「思いがチームを強くする」



好成績を収めた駅伝部員

現在二年連続で全国大会出場と華々しい活躍の聖徳中学校・聖徳高等学校駅伝部。その指導をしている小川健二先生にお話を伺いました。



駅伝部は、学校が誕生して四年目の昭和六十一年に陸上部として活動を始め、その後、聖徳中高校駅伝部として平成八年に独立しました。それから県駅伝で四年連続優勝し、現在は二年連続で全国大会に出場中です。小川先生は平成十二年の途中から駅伝部を指導し、現在の部員数は高校三年生三名、二年生六名、一年生四名、中学三年生一名の合計十四名です。

先生は駅伝部の顧問として駅伝競技の技術を教えるだけでなく、指導者と選手との信頼関係を築き、選手に思い(情熱)を伝える事でチームを強くするという指導をして、今後益々の活躍が期待されています。

Q 駅伝の魅力は?
A リレーと同じですが、一本の襷(たすき)で思い(情熱)を伝える事だと思えます。

駅伝は五人で走りますが、選手が一人も区間賞を取れない場合でも全員が上位であれば優勝チャンスがあります。全員の総合力ですね。指導者の思いも選手に伝わりやすいのではないのでしょうか。陸上の短距離は生まれ持った潜在的な能力、素質といわれ

るものが大きいウエイトを占めていると思います。また、極端に言えば、野球とかは自分にボールが飛んでこなくても、全打席三振しても試合に勝つ時があります。しかし、駅伝では絶対自分が主役という任せられる時間があり、責任がある。しかも総合力で勝負できる。そこが面白いですね。

駅伝では、レース中は誰も助けてくれない。任せられたらその間は自分が走るしかない。そこに責任感も当然芽生えてきます。自分がこの記録で行

Q 指導者の難しさは、どの点でしょうか?
A 技術の指導よりも、難しいのは選手が出場選手から外れた時、補欠に回った時の、心のケアです。

外れた選手は、もうだめだ」と気持ち冷めてしまふ。選手は「君達がいるから、皆が走れるんだ」というムードづくりが大切です。必ずレースでは選手がゴールした時に選手より先に、付き添いの子に「頑張るぞ!!」と声をかけるようにしています。付き添いの子は走りたくても補欠に回っています。ですから先に必ず「頑張るぞ!!」と声をかけます。

全国でもトップクラスの大崎が育ちました。短所は全国レベルで見ると選手層の薄さですね。県レベルでは大崎の他に二人で区間賞を取っているのが高いと思います。聖徳の二番手は県の二番手ですが全国のレベルでは通用しません。全国的なレベルは大崎のみが突出しています。大崎が五千人で全国ランキング六番(日本人で四番)です。一番手の和野は百番以下、層の薄さを感じています。



1区を快走した大崎千聖選手

今、弱い学校でも急成長している学校は長距離の動き作りをやっています。九州の筑紫学園、関西の立命館宇治等の伝統校はやっていません。走って走って自分のリズムをつかむやり方です。伝統校ではない、いま新しいの上がるチームは「もも上げ」をやっていることが多い。うちのし上がりたので、走り作りとして、「もも上げ」を練習にとり入れていきます。今までは実績・素質の無い子が多かった。走り方から指導する。そういう意味では県内では間違いなく一番いいに指導をしています。

しかし、チームとしては技術的なものよりも、精神的なまとまりが重要です。走る選手だけではなく、チームとして丸になることが底上げとなり、勝ちに繋がります。

Q 今年のチームの特徴は?
A 長所は、なんとと言ってモエースの出現です。

私はその考えに全面的には賛成出来ません。元々速く走れない選手が多いわけですが、短距離では練習でも「もも上げ」をやっています。そこで私は短距離と同じような「もも上げ」を長距離バージョンにして練習に取り入れていきます。走りの動き作りをしています。長距離の動きを意識させて。現在、長距離の強い学校は、もも上げをやらない学校が多いです。弱い学校の方がやることが多いです。

今年、全国高校女子駅伝の結果については?
A 今回の結果につきましては、大筋予想通りです。

経験値を積み重ねるために思い切って走るように指示しました。順位を落とさたくないのだから、前半は自己記録で走ってしまったので、後半ハテしてしまいました。

全体のタイムは関東大会では一時間四十分一秒でした。が、今回同じメンバーで一時間四十七秒でした。結果、全国で二十四位でした。選手は皆、持てる力を発揮し、とても良い結果だと感じています。

Q 今後駅伝(スポーツ)をする生徒に一言
A 「継続は力なり」という言葉があります。継続こそ力なりと教わりました。駅伝を指導して本当にそうだなと感じました。

平成十三年に、全国インターハイのリレーで学校として初の全国優勝を狙える時がありました。ですがその時はキースが怪我で出場できませんでした。それでも四位でしたが、本当に残念でつらかった時です。

現在、駅伝部はチームとしてやつと歯車が合ってきたときにエースの出現です。今、継続こそ力なり」に尽きるのではないかと感じています。

陸上をやっていると、私はやつもタメなんじゃないかな」とかかかっ(こは好きなんだ)ど、速くならないんじゃないかな」と感じている子がいるかも。しませんが、明日はわかりませんが、継続こそ力なり」です。

「継続こそ力なり」と自分にも言い聞かせました。

今回、全国大会に出場でき、エースも順調です。継続は力だなと私も実感しています。

今後、これを切っ掛けにチーム全体を盛り上げようと考えています。

一区ではランキングどおりの選手がトップ集団を形成し、その中で競り勝てるかがポイントになりました。結果的に五位で襷を渡す事ができました。

二区は、強豪の多い中、予想以上の成績で渡してくれました。今、伸び盛りの選手です。ランキング以上の成績で走り出しました。

三・四区は共に、三年生の選手です。最後のレースで、又良い順位で襷をもらった為に、前半飛ばしすぎたようです。気が負いがあつた感じでした。

五区の選手は一年生ですが

保護者会・後援会開催日程

ぜひご参加ください。

■附属中高

- ▶2月12日(土)評議員会
13:30~ 場所:学内
- ▶3月18日(金)保護者会
13:00~(予定) 場所:学内
- ▶3月25日(金)評議員納会
18:00~ 場所:上野 東天紅

■附属小学校

- ▶3月2日(水)学級懇談会
12:45~14:00 「卒業生を送る集会」を参観(希望者のみ)
- 14:15~14:45 「学級懇談会」

■聖徳中高

- ▶2月19日(土)後援会
11:00~(予定) 場所:学内
- ▶3月19日(土)保護者会
13:30~(予定) 場所:学内

■附属4園 保育参観 (各園とも10:10~)

- ▶附属幼稚園 2月22日(火)
- ▶附属第二幼稚園 2月14日(月)
- ▶附属第三幼稚園 2月18日(金)
- ▶附属浦安幼稚園 2月23日(水)

■三田3園 保育参観 (各園とも10:00~)

- ▶三田幼稚園 2月25日(金)
- ▶八王子中央幼稚園 2月22日(火)
- ▶多摩中央幼稚園 2月28日(月)
- 3月1日(火)

十二月十一日に行なわれ
ました千葉県私学団体連合



川並 弘昭 理事長・学長先生 千葉県私学団体連合会より 特別感謝状授与

会創立五十周年記念式典において、本学の川並 弘昭理事長・学長先生が特別感謝状を授与されました。先生は、永い間、教育一途に尽くされ、その功勞に對し、特別感謝状が贈呈されました。

聖徳大学サテライトキャンパス SDA賞 贈賞式



中央が川並弘昭副学長

去る十二月八日(水)、東京都千代田区平河町の都市センターホテルにて第三十八回SDA賞贈賞式が行われました。聖徳学園では聖徳大学サテライトキャンパスがコマーシャル部門で入選し、当日は学園関係者と共に施工業者である竹中工務店が出席し、賞状は川並弘昭副学長が受賞されました。

SDA賞は、社団法人日本サインデザイン協会が一九六五年に日本サインデザイン協会として発足後、一九六六年に第一回のSDA賞を実施、今回で第三十八回を数える我が国唯一の総合的サインデザイン賞です。今回の応募総数百七十七点(パネル数六百十八枚)の中で厳正な一次審査、二次審査を経て入選を果たしたという事は特筆すべきことと、聖徳大学サテライトキャンパスがいかに機能のみにとどまらず、サインデザインとして優れているかを表しています。

今後とも聖徳学園では優秀な卒業生を輩出するための建築物に教育・学習機能だけでなくサインデザインにも気を配り、まさに「優れた人材の育成は、最良の環境から」を実践していきます。

言語文化研究所の 講演会

平成十六年十一月二十八日に、言語文化研究所の講演会が開催されました。今回は「日中研究教育事情」というテーマで、最初に本学教授北村弘明先生による「中国留学生と『日本事情』教育」、続いて国際交流基金知事による「部次長、小野旭氏による中国における日本研究最前線」のお話がありました。



講演する北村先生

大学院生の研究 (財)日本科学協会より研究助成を受け、 現在研究進行中

大学院人間栄養学研究科人間栄養学専攻博士後期課程二年 東口みづかさんの研究が(財)日本科学協会より研究助成(笹川科学研究助成)を受けました。この助成事業は、人文・社会科学及び自然科学(医学を除く)または、境界領域の研究計画に関するものを対象とし、萌芽性、新規性及び独創性のある内容をもった研究内容で、意欲に満ち優れた研究を行う若手研究者の育成のため、その研究に対する助成を行うもので、今年度の助成決定者は、大学、研究機関などから推薦された二百八十九名の応募者の中から選ばれた四百十名の若手研究者です。東口さんの研究テーマは、禅宗僧堂における食事の食品栄養学的研究で、現在その研究のためのデータ収集、集計を行っており、今後の研究成果が期待されます。

公立小学校教員 採用試験最終合格者情報

宮城県1名	茨城県4名	埼玉県14名	さいたま市1名
千葉県18名	東京都44名	横浜市2名	川崎市2名
京都府1名	沖縄県3名		
合計 90名			

公立幼稚園教諭 採用試験最終合格者情報

東京都特別区1名	大熊町(福島県)1名
合計 2名	

公立保育士 合格者情報(一次通過者)

東京都:練馬区、江東区、港区、新宿区、台東区、杉並区、目黒区、世田谷区、北区、渋谷区、足立区、小金井市、西東京市	計 34名	神奈川県:綾瀬市、横須賀市、逗子市、厚木市、海老名市	計 10名
千葉県:船橋市、旭市、市川市、千葉市、館山市、習志野市、浦安市、柏市、市原市、我孫子市、君津市	計 34名	山梨県:甲府市	計 1名
埼玉県:鳩ヶ谷市、桶川市、川口市、越谷市、草加市、久喜市、北本市、さいたま市、寄居町、伊奈町、三芳町	計 21名	静岡県:静岡市、伊東市、富士宮市、浜松市、御殿場市	計 7名
茨城県:高萩市、土浦市、つくば市、阿見町	計 8名	新潟県:新潟市、小千谷市、中条町、川西町	計 5名
岩手県:花巻市	計 1名	長野県:佐久市	計 1名
宮城県:仙台市、女川町	計 4名	富山県:富山市	計 1名
群馬県:前橋市、高崎市	計 2名		
合計 129名			

最終合格者 90名

九名公立栄養士は一次合格者七名、「行政事務職」は一次合格者一名を記録、全員が最終合格することを願っています。

就職戦線も学部四年生、短大部二年生、専攻科卒業生次生にとつてはラスト・チャンスを残すのみになってきました。今年も、公立小学校教員採用試験、最終合格者九十名を輩出することができました。「公立幼稚園教諭」は最終合格者二名、「公立保育士」は一次合格者百二十名

キャリア支援室 だより

公立小学校教員採用試験

平成十六年度 文化講演会

講師 大山のぶ代 氏

女優、声優として、ドラマも「江戸を斬る」や、全国でも電話相談室などテレビ・ラジオ等で幅広く活躍されている大山のぶ代さんによる文化講演会が十二月二十日(月)、川並香順記念講堂にて開催されました。

「今しかできない事がある」魅力ある女性の生き方、というテーマに沿って自らの幼少時代や、女優・声優の仕事をおして経験し、学んだエピソードなどを織り交ぜながら、卒業をしてこ



女性の生き方について講演された大山のぶ代さん

れから社会へ巣立とうとする学生達に向け、今自分自身が何をすべきなのか、目標に向かうための努力が大切だというお話をしていたいただきました。

学生達も大山のぶ代さんの話に真剣に耳を傾け講演終了後、学生から盛んに拍手が送られました。

NHK New Year Opera Concert

『NHKニューイヤーオペラコンサート』に出演して

大学院音楽文化研究科 / 青戸 知

二〇〇五年一月三日・四日、NHKホールに於いて新春恒例のNHKニューイヤー・オペラコンサートが開催されました。今回は、ドイッ・オーストリア、深遠なる音楽の森」と題し、ドイッ・オーストリアの名作オペラ・オペレッタが演奏されました。そのなかでワーグナーの「タンホイザー」第二幕のハイライトにヴォルフラム役として私は出演させていただきました。指揮はジョン・ミンヨン。オーケストラは東京フィルハーモニー交響楽団でした。

「今しかできない事がある」魅力ある女性の生き方、というテーマに沿って自らの幼少時代や、女優・声優の仕事をおして経験し、学んだエピソードなどを織り交ぜながら、卒業をしてこ

ならず、その番組創りのためにスタッフの方々の並々ならぬ努力に触れて、舞台裏の大変さを知りました。さて、私のパフォーマンですが、ハイライトというところで、普段のオペラ上演と変わりなく、その上、数年前に「タンホイザー」のヴォルフラム役を全曲経験していた事がプラスに働き大きな気持ちで歌い、演じることができました。ほんとうに感謝の心で一杯です。私は現在、博士後期課程に在籍し、ここで演奏家としてのバックグラウンドを学問を通じて学んでいます。バックグラウンドを豊かにすることで私のパフォーマンスも豊かになることを今

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアへ留学。学部在学中に安宅賞、松田トシ賞受賞。一九九六年二期会、ワルキューレ・ウオータンで一躍脚光を浴び、第二十四回ジロー・オペラ賞新人賞を受賞。一九九七年新国立劇場開場記念、ローエングリンで朗々たる美声を聴かせた。国際的にも注目される。以来二期会、フィガロの結婚、アルマイグ、ヴァルサー、同、タンホイザー、ヴォルフラム、新国立劇場「魔笛」ババゲー、同、青いひげの城、タイトルロールなど数々のオペラで喝采を浴び、パロツクから現代に至るまでの広範囲なレパートリーを武器に、若手の中でも群を抜く活躍を続けている。現在、本学大学院音楽文化研究科博士後期課程に在学中。



PROFILE

音楽文化学科 ピアノコース 推薦コンサート

サントリーホール(小ホール)で開催

平成十七年一月九日(日)の午後、東京のサントリーホール(小ホール)で、音楽文化学科ピアノコース推薦コンサートが開催されました。このコンサートは例年学内の演奏堂で行われておりましたが、年々演奏水準が高くなり、外部の方々にもお聴きいただくためにこの度



見事な演奏を披露する田中美穂さん

学外での演奏となりました。演奏者は、推薦された一年生から四年生までのピアノコースの学生十名です。モーツァルト、ベートーヴェンといったウイーン古典派の作品から、シューマン、ショパンのロマン派の名曲フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルのフランス音楽や、スクリヤビン、プロコフィエフのロシア音楽等、多様なピアノ音楽が演奏されました。

当日は、学長先生をはじめ多くの方々にご来場いただいたことを、御礼申し上げます。演奏した学生の友人や家族だけでなく教職員も、音楽文化学科では今後とも学内外での演奏を予定しておりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

- 大槻 佳織 (1年生) モーツァルト: 幻想曲 八短調 K.475
- 萩原 美香 (2年生) ドビュッシー: 《喜びの鳥》
- 藤井 遼子 (2年生) シューマン: ピアノ・ソナタ 第2番 ト短調 作品22 第4楽章
- 田中 美穂 (3年生) スクリヤビン: ピアノ・ソナタ 第2番 嬰ト短調 作品19
- 千吉良優子 (3年生) フォーレ: 夜想曲 第6番 変二長調 作品63
- 山尾 啓子 (3年生) ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第23番 八短調 作品57《熱情》 第1楽章
- 渡邊明日美 (3年生) ドビュッシー: 《映像》第1集より 《水の反映》、《運動》
- 川井 美穂 (4年生) ラヴェル: 《夜のガスバル》より 《オンディーヌ》、《スカルボ》
- 黒羽 夏季 (4年生) プロコフィエフ: ピアノ・ソナタ 第8番 変ロ長調 作品84 第2、3楽章
- 行本奈保子 (4年生) ショパン: ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 作品58



バレーボールの部		綱引きの部	
優勝	富士見寮2	優勝	富士見寮
準優勝	富士見寮1	準優勝	和心寮
第3位	和心寮2	第3位	香風寮

平成十六年十一月二十一日(日)、第十三回学寮スポーツ大会が本学体育館にて盛大に開催されました。今年度は、香風寮・富士見寮・和心寮の三寮での開催でしたが、各寮オリジナルのTシャツに身を包み二百名を超える寮生が参加しました。

バレーボールではこの日に備えて練習した成果を存分に発揮し、各チームともレベルの高い試合を繰り広げていました。綱引きでは日頃、寮生活で培っている団結力を持ち味とした力強い姿を見ることができました。応援では、バレーボールや綱引きで見せた勇姿とは違った華やかな演技で、学寮委員を始めとした私達審査員を魅了してくれました。競技終了後のお楽しみ抽選会も大いに盛り上がり、寮生にとって良い思い出作りができた一日だったと思います。

なお、戦績結果は左記のとおりです。

応援団体賞 (チャリコGET賞)..... 香風寮



第十三回 学寮スポーツ大会

幼児教育 専門学校 だより

伝統行事！第四十八回 グループ研究発表会

一月十六日(日)に大学・短大・専門学校そして幼稚園の先生方を多数お招きして、第四十八回グループ研究発表会が開催されました。本学の伝統行事として、発表にあたった学生は五月のグループ研究領域希望調査から始まり、班長ガイダンスや二回の一斉指導を行い、放課後、冬休みを返上して研究し、発表しました。



この発表は、大学の卒業論文にあたるもので、クラスごとにいくつかのグループに分かれて希望の研究領域を選び、担当教員の指導

によって研究、発表します。すなわち、将来保育者になる学生本人の専門領域・得意分野になるわけです。そして、この発表会の代表として選ばれたグループは、二月に行われる全国保

青少年表彰を受賞

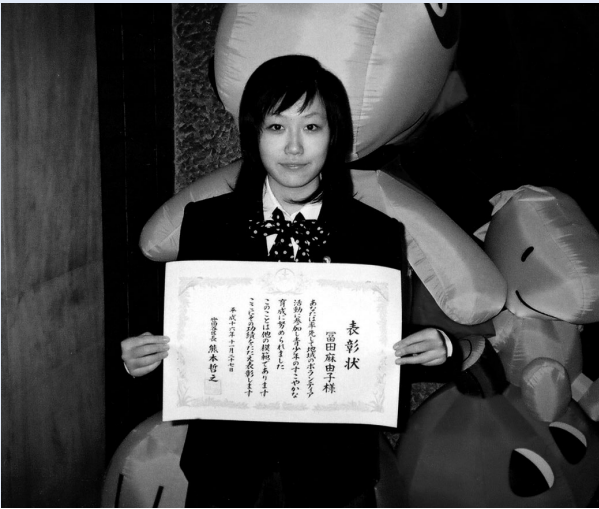
幼児教育専門学校 保育科第一部
二年クラス 富田 麻由子

平成十六年十一月二十七日(土)、私は世田谷区青少年表彰を受賞いたしました。これは、中学二年生から七年間、児童館の青年スタッフとして携わって来た結果です。そのきっかけは、母が近所の児童館でサークルに所属していて、毎年十一月に実施されるお祭りにボランティアで参加したことです。

そして、この児童館の一階にはバンド練習が出来る部屋があり、中学生、高校生が練習のため来館します。そのため、ライブ活動やま

つり、キャンプなどのイベントにたくさん参加しています。私が中学二年生からボランティア活動を続けて来られたのも、たくさんの友達、職員の方、地域の方のおかげだと思っています。そして、子どもたちと触れ合うことの素晴らしさに気づき、保育者を目指すようになった。幼児教育専門学校に入学し、ボランティア活動で学んだことは

授業、実習などでも役立つものでした。このボランティア活動から、私は人々の役に立つこと、子どもたちと触れ合う



こと等学ぼうと思っても学べない大切なことを学びました。今回、この青少年表彰に推薦していただいた館長さん、活動のために様々な協力をお願いした職員の方々、地域の方々、友人、家族、全ての人々に感謝をし、この表彰だけで満足するのではなく、これからも様々なことに積極的に参加して

いき、保育者として頑張っていきたいと考えております。本当にありがとうございました。



十二月十八日、第七回となるクリスマスコンサートが開催されました。この一年を締めくくると音楽行事であるこのコンサートは明るく開放的な雰囲気の中、ホールを会場として、クラスや有志十九団体の発表と音楽系の三つの部活動による演奏披露の二部構成で行われました。



盛り上がったバンド演奏

当日、第一部「今日は楽しいクリスマスでは中学生による担任の先生の伴奏での美しいコーラス披露や、聖徳祭などで多くの発表実績を持つバンドの演奏などで盛り上がり、第一部ホワイ



クリスマス コンサート開催

この度、大東文化大学主催第四十六回全国書道展におきまして、本校中学生の藤川真帆さん(三年A組)が個人の最高賞である文部科学大臣奨励賞を受賞しました。書道関係者のみならずこの賞の重みは、応募作品総点数一万九千五百七十一点の中の四点ということでもご理解いただけるかと思

古典に 親しむ 三年 藤川真帆

文部科学大臣奨励賞
藤川真帆 (中3)

団体賞としては、全国書道高等学校協議会賞(五位)を頂戴し、来年に向けて更なる指導の充実を図らねばならないという思いでありま

書道担当の先生から受賞の報告を受けた時はとても驚きました。そして、こんな大きな賞を頂いていいのかという不安な気持ちにもなりましたが、廊下ですれちがったほかの先生方からもおめでとうという温かい言葉をかけて頂き、少しずつ喜びが込み上げてきました。私が書道を始めたのは、小学校二年生のときです。硬筆は幼稚園の年長から始めたのですが、三歳年上の姉が、大きな筆で条幅に書初めの練習をしているのを見て、羨ましく思っていました。早く筆や墨を使っていた。早く筆や墨を使っていた。大きな文字を書きたいと思いました。墨の匂いや、たっぷり墨を含んだ筆に光が当たって輝くその色も好きでした。書道塾の先生は、道具の扱いや片付け



生徒達の活躍が続いています。

附属中学校・高等学校

- ▶ 体操競技部
平成16年度千葉県高等学校新人体育大会体操競技の部
団体総合優勝
・5C 鎌田 優さん **個人総合第3位入賞**
・4F 桑田直子さん **個人総合第4位入賞**
- ▶ 書道科 大東文化大学主催第46回全国書道展
全国最優秀団体賞受賞
- ▶ 4M 金子亜美さん
第50回青少年読書感想文千葉県コンクール高等学校の部
最優秀賞受賞
- ▶ 6M 千ソノイさん
第103回千葉県高等学校弁論大会
第一席最優秀賞受賞
第49回文部科学大臣杯全国青年弁論大会
優秀賞、熊本市教育委員会賞受賞
- ▶ 6F 長谷川舞さん
國學院大学・高校生新聞社主催第8回高校生創作コンテスト
短歌部門佳作入賞
- ▶ 6G 秋谷仁美さん、5G 平塚万幾さん
第15回伊藤園おーいお茶新俳句大賞
佳作特別賞受賞
- ▶ 3A 菅野れいらさん
第4回私立中学校レシテーション大会
中学3年生の部 **第1位**

第四十六回全国書道展入賞

聖徳中学校・高等学校

中学生になってからは、学校生活が忙しくなってきた。そして、私が行けなくなりました。しかし、私が通う聖徳中学校には書道の授業があります。楷書から行書、実用書まで幅広く教えてくれます。今回も、自分の名前の行書がわからなかったため、担当の先生にお聞きしました。先生は丁寧にお手本を書いてくださいました。とても感謝しています。私はこれからもこの賞を励みとして、書道に親しみたいと思っています。また文字にはその人の心の持ち方や人格が表れると聞いたことがあります。じっくりと作品と向き合いながら、自分の内面も磨いていきたいと思っています。

『てのひら文庫賞』読書感想文全国コンクール 『最優秀校』二年連続受賞

附属小学校

十一月二十日(土)、第二十八回『てのひら文庫賞』読書感想文全国コンクールの表彰式が東京の新高輪プリンスホテルで行なわれました。この読書感想文コンクールには、指定図書部門と自



左から藤原さん(1年)、藤平くん(2年)、中尾さん(6年)

由図書部門があり、小学生を対象に今年度は全国から八万五千四百二十九名の応募がありました。附属小学校では全児童が参加しました。その中から中尾摩理さん(六年)が「石森延男賞」、藤平理久くん(二年)が「最優秀賞」、藤原麻衣さん(一年)が「優秀賞」を受賞し、表彰式に出席しました。その他にも「優良賞」五名、「佳作賞」十二名、「奨励賞」二十五名、「努力賞」七十一名、計百十六名の児童が入賞することができました。また、これらの児童のがんばりが認められ、学校賞として、三年連続の最優秀校参

加校九百二十六校中の表彰を受けることができました。特に、中尾摩理さんは、一年生のころから毎回入賞し、今回は最高の賞である「石森延男賞」を受賞することができました。表彰式の途中、代表として感想文を朗読する姿は、会場にいた全ての人達を驚かせるほどの素晴らしいものでした。その後、主催者の代表の方が二十年ほど前の表彰式で石森延男先生がお話しされた言葉を紹介してくださいました。

『このころ日本人の言葉が大変乱れてきたように思います。言葉が乱れるということ、考える力が弱くなり乱れてきたことを意味し

正しい言葉づかいができるようになるには、まず書く力をつけることが重要です。これからの良い本をたくさん読んで、子ども達も自分の言葉で感想文を書き続けて欲しいと強く感じました。



表彰式後の集合写真

最優秀校までの足跡

附属小学校校長 酒井 國光

一昨年度は、「最優秀学校賞」受賞と、昨年度はそれに「連続」の二文字が加わり、今年さらには「三年」の二文字が加わりました。大変な誉なことです。

「このひら文庫賞」読書感想文全国コンクールで三年連続「最優秀学校賞」を受賞しました。このコンクールは、文部科学省所管(財)総合初等教育研究所が主催し、文科省が後援(株)文溪堂と日本教育新聞社が協賛するもので、今年度で二十八回目です。

このコンクールへの本校児童の作品応募は、まだ十年になりません。ここ数年間の個人賞、学校賞受賞の跡を振り返ってみました。(学年は受賞当時のもの)

先生が代表で参列し受賞の挨拶もしました。本校では、石森延男賞を受賞した六年三組・中尾摩理さん、最優秀賞の二年二組・藤平理久君、優秀賞の一年二組・藤原麻衣さんと御家族の方々が招待されました。

平成十年度：この年から個人賞受賞が増。佳作賞一名、奨励賞七名、努力賞三十五名もあり、学校賞としては「優良校」を受賞した。

平成十一年度：二年生森本藍さんが、最優秀賞を受賞。他に優良賞一名、佳作賞四名、奨励賞十二名、努力賞三十名もあり、「優秀校」に選ばれた。

平成十一年度：二年生森本藍さんが、最優秀賞を受賞。森本さんは文部大臣奨励賞にも選ばれた。この賞は最優秀賞受賞者の中から選ばれる。この年の個人賞受賞者は五十二名であった。

平成十三年度：三度目の「優秀校」受賞。三年中尾摩理さんが最優秀賞/文部科学大臣奨励賞を受賞したのを筆頭に、実に七十三名が入賞した。

平成十四年度：ついに「最優秀校」に到達した。二年板垣和君の優秀賞を筆頭に、優良賞四名、佳作賞十二名、奨励賞二十五名、努力賞四十六名の計八十八名が入賞した。

平成十五年度：連続「最優秀校賞」受賞。最優秀賞/文部科学大臣奨励賞の一年藤平理久君、優秀賞の五年中尾摩理さんを初め八十九名が入賞した。

平成十六年度：三年連続で、「最優秀校賞」を受賞。個人賞は上記三人の他、優良賞五名、佳作賞十二名、奨励賞二十五名、努力賞七十一名の計百十六名であり、本校では、四・三名に一人が入賞したことになる。

今年の応募者数から算出すると入賞率は約六十五人に一人の割合になります。本校児童の入賞率がいかに高いかがわかります。これは本校児童の確かな学力の証の一つです。今後、一層の努力を重ねていく覚悟です。

Q 今月号(第15号)の記事でよかったものをお答えください。(上位5項目)

1位	鈴木みゆき先生インタビュー	32
2位	寮食の豆知識	19
3位	南京大学との国際交流締結	19
4位	新潟中越地震に伴う特別措置について	17
5位	ドイツ・スイス・リヒテンシュタインの旅	14

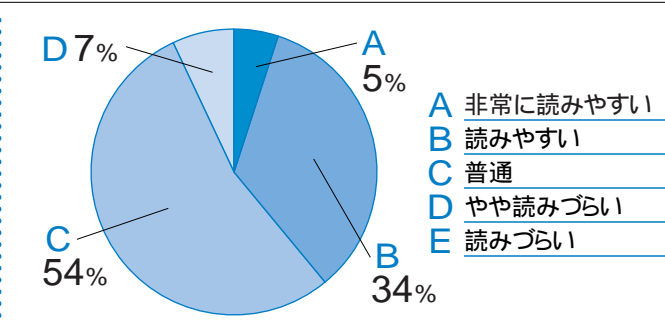
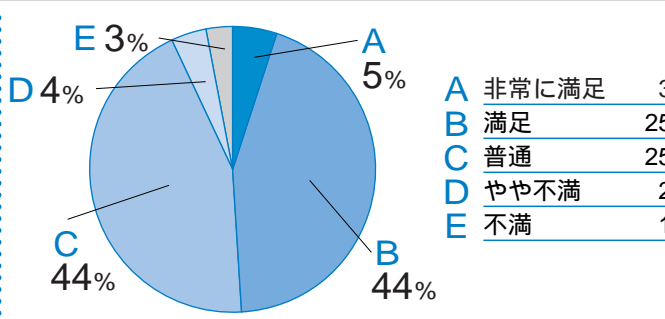
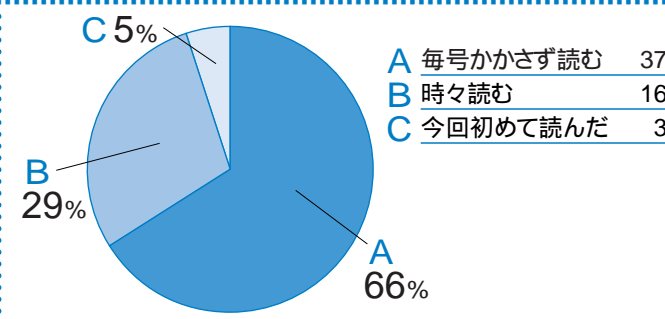
Q 今後取り上げて欲しいトピックについて教えてください。(抜粋)

- ・インタビューや対談を通じて教員の研究内容を知りたい。
- ・授業内容やクラブの活動状況などの学校生活の様子について。
- ・学園内だけの話題だけでなく、今日の社会の動きにどのように学園が対応しているか。
- ・園児・児童・生徒・学生の学校に対する生の声を知りたい。
- ・就職や進学の情報について。
- ・海外もしくは国内他大学との交流について。

Q その他ご意見・ご感想をお書きください。(抜粋)

- ・今回初めて読みましたが、聖徳学園の様子が掴め、私も聖徳の一員であることを自覚しました。
- ・次回の発行時期が不明確なので、発行予告を掲載して欲しいです。
- ・紙面でなくメール配信でもよいように思う。
- ・学園全体の動きを知ることができ、大変参考になります。保護者へもよく伝わっていると思います。
- ・幼児教育関係と義務教育関係とをまとめ、それ以降を別編集という考え方はいいかでしょう。
- ・どうも国際的な感覚を欠く。独自のカラーを打ち出しているのが、今一つ。
- ・各幼稚園や大学関連の記事が雑然と並んでいる感じがする。
- ・全国区で取り上げられた話題の先生やニュースはもっとタイムリーに扱ってほしい。

このように今回のアンケートではお褒めの言葉をいただくと同時に、内容の充実や紙面の改善に向けて多くのご指摘をいただきました。この貴重なご意見を参考に、今後の「聖徳フラッシュ」制作に活かしていこうと考えております。また、これからもアンケート等を通じて「聖徳フラッシュ」のより一層の内容充実を目指し、読者の方々にご意見をいただきたいと考えております。読者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(企画渉外課)



Q 聖徳フラッシュをどのくらいの頻度でご覧になりますか?

Q 今月号全体でのご感想を教えてください。

Q 紙面の読みやすさについて教えてください。

『聖徳フラッシュ』アンケート結果のご報告

『聖徳フラッシュ』第十五号の発行後、今後の紙面のさらなる内容の充実を図るため、学園HPにて読者アンケートを実施いたしましたところ、五十六名の方より貴重なご意見、ご感想をいただきました。ここではそのアンケートの結果をご紹介します。

本学客員教授 **陳 建一** 先生が紹介する **冬のあったかメニュー**
 ~ 自由自在豚ばらスープと豚ばら肉ともやしの前菜 ~

今回は冬に暖かくて、そして簡単な料理をご紹介します。
 豚のばら肉1本で2つの料理ができて、立派な献立になります。

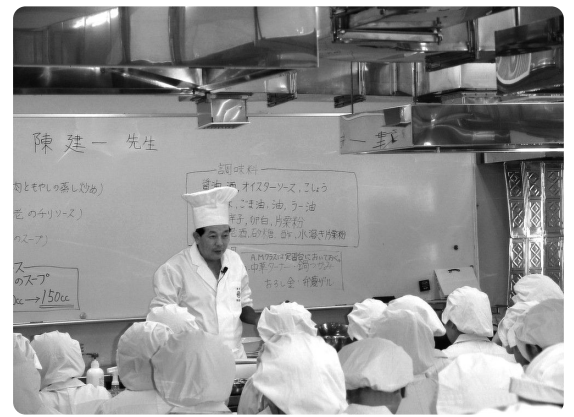
自由自在豚ばらスープの作り方

- ・お湯1.2リットルを沸かし、それにお酒50cc、ねぎの青い部分、しょうがを加える。そこに豚ばら肉を入れ、湯がく。
- ・豚ばら肉に火が通るまで、約20~30分湯がく。その間に、大根を2センチほどの半月切りにする。
- ・豚ばら肉に火が通ったら取り出し、準備した大根を入れ、塩、こしょうで味を調える。
- ・取り出したばら肉の半分をスライスしておき、大根に火が通ったらなべに返し軽くあたためて、スープの出来上がり。

材料(4人前) ・酒50cc
 ・豚ばら肉1本 (日本酒でも可)
 (約500グラム) ・塩、こしょう
 ・大根適量



本学客員教授 陳建一先生



大人気の陳先生の授業

豚ばら肉ともやしの前菜の作り方

- ・残った半分のばら肉を細切りにする。
- ・茹でて水気を切ったもやしに塩とごま油で下味をつける。
- ・細切りにしたばら肉はさっと湯びきし、水気をよく切り、あたりごま、醤油、砂糖でごま風味をつけ、下味をつけたもやしと和えて出来上がり。

鶏がらスープを家で作るは大変ですが、このように豚バラ1本でも結構いいだしが出るんです。ばら肉には脂身があって、これがスープにコクをだします。脂というのはコクなんです。そして、この料理のポイントは酒。酒を入れて煮ると肉はやわらかくなります。

自由自在スープというのはあなたの発想でひとつのベースからいろいろなことができるということです。スープには大根でなくても、牡蠣や鱈、白菜を入れて鍋料理にすることもできます。スープが残ったら、ご飯をいれておじやにしてもおいしいですよ。前菜も、もやしの代わりにきゅうりを使っても大丈夫です。あるものを利用してうまくアレンジしてみてください。

幼稚園短信

「いつもお仕事
ありがとうございます」

附属第三幼稚園

街の木々も色づき始めた十一月第四週。勤労感謝の日「にちなみ、松組 梅組の子ども達が、自分達で作ったカレンダーに感謝の気持ちをこめて様々な職場を見学させていただきました。

まず松組は、幼稚園バスに乗り、JR成田駅、郵便局、千葉交通、銀行、いつもお世話になっている園医さんのところに行きました。JR成田駅では、切符販売機の裏側を見せていただいたり、ホームに降りて行くまでに

「学内研究保育」

附属第一幼稚園

去る十一月二十日(土)、第二幼稚園に於いて学内研究保育・研究協議会が開催されました。この研究会は、園内研修の充実を図り教員の質向上を目的に昭和五十一年よりスタートし今年で二十八回を迎えます。本園での発表は四回目ですが今回は、幼児の言葉を豊かに育てるためには、幼児の実態を探り、保育者の援助のあり方を考える「をテーマに取り組んできました。現代の子ども達の生活環境は、少子化や核家族化のために大人に囲まれて過ごすこと



研究の一環として行なわれた保育参観

目、の不自由な方のために黄色い線が引かれていることなど教えていただいたり、駅長室では、駅長さんの帽子も被らせていただきました。郵便局では、手紙やはがきを地域別に仕分けする機械を見せていただき、子ども達は、その仕分けの早さにびっくりしていました。梅組は、交番と消防署に行きました。交番では、少し怖いと思っていたおまわりさんが、とても優しくお話をしてくださり、さらにパトカーにも乗せてくださいました。消防署では、トレーニング室に連れて行っていただいたり、はしご車も見せていただきました。子ども達も聞き入っていました。

午後の協議会では研究過程や当日の保育について発表をし、その後はグループ別にディスカッションが行なわれました。各先生方からそれぞれの専門的立場での貴重な意見、ご助言を伺い有意義な時間を過ごすことができました。



有意義な意見交換が行なわれた討論会

時代の流れと共に教育のあり方や家庭の子育てに対するニーズも多様化し、その対応も難しくなってきました。私達は

将来の子ども達の幸せを願い、より一層一人ひとりが聖徳幼稚園の教育に対する理解を深め、指導能力の向上に努めていかなければならないと痛感した研究会でした。



みんなで仲良くお遊戯

中学生のお兄さん・お姉さんと遊んだ楽しい一日

三田幼稚園



お兄ちゃん、お姉ちゃん、遊ぼう!

毎年十一月になると、港区立三田中学校二年生が職業体験に来ます。今年は男子六名、女子六名、計十二名の中学生が来園しました。朝の挨拶は元気がなく照れくさそうな生徒達でしたが園児達に「お兄ちゃん、お外で遊ぼう!」「お姉ちゃん、本読んで!!」等と言われると本当にうれしそうなお顔を覗かせていました。子ども達の前に立つと純粋な心が子どもと通い合い元気いっぱい元気な声が聞かれましたが、私達大人の前ではちよ

つと恥ずかしく自分が出せないという姿も見られました。しかし、十二人中四名は本園の卒園生でもあり懐かしさでいっぱいだったようです。子ども達と砂場で遊んだり、共に片づけをしながら砂だらけの足を洗ってあげたりと世話をせずにはいられない!という温かい思いやりの心を感じましたよ。園中ではひょうきんで笑いを振り撒いていたり、甘えん子だったり...とそんな姿を私たちも思い浮かべ生徒達に優しさが備わっている様子を見て「いつもここに元気な子ども」が根付いていた事が確認できるともうれしく思いました。子ども達や私達、そして生徒達にとっても有意義な一日でした。生徒達は、明日もお兄さん達来る?と聞かれ嬉しそうに園をあとにしました。

達からの「どうやって火の中に入るんですか?」の質問に、火の中に入る時の服装で、火の中に入る時の事を教えてくださいました。子ども達は口を開け「すごいな」と尊敬と憧れのまなざしで聞き入っていました。

これを機会に、さらに多くの仕事があり、みんなのために働いてくれている人がいる事を知らせていきたいと思っています。



楽しかった駅見学



憧れの消防士さんと一緒に

(7) 平成17年2月1日(火)

「リフレッシュタイムを一緒に」親子で楽しいおやつ作り

附属幼稚園



お母さんと一緒におやつ作り

附属幼稚園では幼稚園を地域に開放し家庭での子育て支援を目的にした活動の一つとして、二才児以上の幼児とその母親を対象に「リフレッシュタイムを一緒に」と言うタイトルで年間八

楽しい保育参観

八王子中央幼稚園

子ども達が幼稚園で友達と遊んだり、製作したりしている姿を見ていただくために、各学期毎 保育参観を行います。二学期は製作を行っている姿を見ていただく計画をたてました。子ども達は、「今日は、お母さんが見に来てくれるんだね。」「嬉しいね。」一緒に遊ぶんだ！と張り切る子、緊張する子と様々な姿が見られます。日頃から製作遊びを楽しむ子どもが多く、はさみやのりを使って製作することが好きになりました。今

では、材料の使い方・作り方に工夫をしたりと、抵抗なく喜んで行う事が出来るようになり、出来上がった事を喜んで、友達同士で見せ合ったりと、とても喜んで取り組むことが出来ています。保護者の方にはこのよつな一生懸命取り組む様子や工夫しながら作る子ども達の成長した姿、そして入園・進級時より落ち着いて活動に参加する姿等を細かく見ていただく良い機会となります。保護者の方から「製作をしている姿が見られ、とても良かったです。」「夢中になって作っている様子に感動しました。」何でも出来るようになって嬉しいです。」と話が聞かれ、集団生活



みんなが大好き製作遊び

の中で色々な事を身に付けられる良さを製作をする姿を通して、見ていただけるとも良い園行事になります。

サンタクロースがやってきた

多摩中央幼稚園

十一月二十六日金には今年度七回目の講座を保育科の佐伯節子先生に親子で楽しいおやつ作りと言うテーマで開いていただきました。ホームページ等で案内をいたしましたところ、あつという間に四十八組もの申し込みがあり、お断りする方も出た程でした。この日は近づくクリスマスに向けて、バナナケーキ、野菜のゼリー、きな粉のクッキー、紅茶というメニューでした。バナナケーキの上に生クリームをしぼったり、ツリー型のゼリーにホワイトチョコを好きなように飾ったりという内容でしたが、親子で言葉を交わしながら笑顔で楽しむ光景があちこちで見られました。子どもと一緒に本当に楽しかったです。」とお礼を言って帰られるなど母親にとってリフレッシュ出来る時間になったと思われま



上手にできたかな?

楽しかったクリスマス会

附属浦安幼稚園

落葉が舞い、ジングルベルが街に流れゆく十二月十五日(水)、園児達が首を長くして待っていたクリスマス会が、二学期のフィナーレらしく浦安幼稚園ホールで行われました。

園児達は、廃物を利用し、自分達で作った色とりどりの帽子を冠り、ホールに入場するや、期待は一層高まりました。やがて暗天にされたホールに五才児松組の代表三人が声高く行った始めの言葉を合図に、ツリーやホールの壁に装飾されたイルミネーションが一緒に点灯しステンドグラスは輝き、園児はじめ保護者の方々の感嘆の声がホールい

り、驚いてじつと見つめたり、握手を求めたりと様々な子どもの姿がありました。サンタクロースが持つ大きな袋を見つけるとわーい、プレゼントだ！何が入っているのかなと大喜びでした。サンタさんのお手伝いでそれぞれの担任よりプレゼントを頂くとありがとございますと大きな声でお礼を言うことができた子ども、びっくりして声も出せない子どもと様々でした。頂いたプレゼントをここに顔で大切そうに胸に抱きしめていました。サンタさんにはプレゼントを高く上げてあげるとお礼を言う姿も見られました。プレゼントのお礼にリズム遊びを披露して楽しめました。各保育室もクリスマス

の装飾でいつもとは違った華やかな中で、保護者の方に作って頂いたお弁当と給食の先生に作って頂いたクリスマスケーキをみんなで楽しく頂きました。子ども達のお弁当はクリスマスらしい飾りがしてあり、サンタの顔の形のおにぎりやツリーの形のおにぎりなど保護者の方々の工夫が見られた夢一杯のお弁当でした。クリスマス会を通してサンタクロースとの触れ合いが持てて夢を持って参加でき、良い



サンタさんだ！わーい

つばいに反響し、元気にクリスマス会の歌を全員で合唱しました。

小中高・聖徳中高副校長・川並芳純先生が威厳のある声でメリクリスマス、メリクリスマス」と言いながら、ホールに入場するや、数日来、心待ちにしていたサンタさんを園児達は驚きと歓声で迎えました。サンタさんが浦安幼稚園の松組さんはどこですかとたずねると口々に「ハイ」と嬉々として答えていました。

園児達は、廃物を利用し、自分達で作った色とりどりの帽子を冠り、ホールに入場するや、期待は一層高まりました。やがて暗天にされたホールに五才児松組の代表三人が声高く行った始めの言葉を合図に、ツリーやホールの壁に装飾されたイルミネーションが一緒に点灯しステンドグラスは輝き、園児はじめ保護者の方々の感嘆の声がホールい

サンタさんが一人ひとり可愛いもみじのような手の園児と握手すると園児達はサンタさんと握手したよ、サンタさんの手は大きかったよと興奮気味でした。やがてお別れの時、来年も来て下さいねと見送り、びっく



サンタさんに大喜びの園児たち

りした!!「楽しかった!!」本当にサンタさん来てくれたんだ!!」という感激の言葉の連発の中で無事クリスマス会は終わりました。園児達の成長の過程の中で、この体験は、良き思い出のページになってくれることと思います。

平成17年度 入試日程

聖徳大学大学院(共学/昼・夜開講)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
前期課程 内部推薦入試B(臨床のみ) 一般入試B 社会人特別入試B 私費留学生特別入試B		2月 7日(月)~ 2月23日(水)	2月27日(日)
前期課程 一般入試B 社会人特別入試B 私費留学生特別入試B		2月 7日(月)~ 2月23日(水)	2月26日(土) 2月27日(日)
後期課程 一般入試B 社会人入試B		2月 7日(月)~ 2月17日(木)	2月27日(日)
後期課程 一般入試B 社会人入試B		2月 7日(月)~ 2月17日(木)	2月26日(土) 2月27日(日)

聖徳大学大学院通信教育課程(共学)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
4月生	博士前期4月生(B日程)	1月31日(月)~3月 9日(水)	3月13日(日)

聖徳大学人文学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
大短学大	一般入試B 一般入試C	2月 7日(月)~ 2月22日(火) 2月28日(月)~ 3月11日(金)	2月24日(木)~25日(金) 3月15日(火)~16日(水)

聖徳大学人文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
編入学	内部推薦入試C 学士入試D 一般入試D 社会人特別入試D	2月 7日(月)~ 2月22日(火)	2月25日(金)
専攻科	内部推薦入試C 一般入試D	2月 7日(月)~ 2月22日(火)	2月25日(金)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
AO入試	後期B日程	3月 1日(火)~ 3月19日(土)	3月20日(日)
推薦入試	後期B日程 後期C日程 後期D日程	1月24日(月)~ 2月10日(木) 2月14日(月)~ 2月26日(土) 3月 1日(火)~ 3月19日(土)	2月11日(祝・金) 2月27日(日) 3月20日(日)
一般入試	後期B日程 後期C日程 後期D日程	1月24日(月)~ 2月10日(木) 2月14日(月)~ 2月26日(土) 3月 1日(火)~ 3月19日(土)	2月11日(祝・金) 2月27日(日) 3月20日(日)

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

入試区分	願書受付期間	入試日
中学	一般第三回入試 窓口での出願期間 2月3日(木)~2月4日(金) 郵送での出願期間 1月28日(金)~2月2日(水)必着	2月6日(日)
高校	一般第三回入試	2月20日(日)

聖徳大学音楽研究センター特別講座

『ストリングスの楽しみ』

~ピアノを迎えて~

2005年2月7日(月)

開演/18:00

【会場】/ 聖徳大学奏楽堂

【入場料】/ 1,000円 全席自由

出演者
ヴァイオリン: 坂本 真理
ヴァイオリン: 岩戸 有紀子
ヴィオラ: 成瀬 かおり
チェロ: 植草 ひろみ
ピアノ: 落合 久美子

プログラム
ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 イ長調 Op.18-5
シューマン: ピアノ四重奏曲 変ホ長調

聖徳大学音楽研究センター特別講座

『音楽療法を知る』

【第5回】 2005年2月11日(祝・金)

14:00~16:00

《緩和ケアの音楽療法の実践》
救世軍清瀬病院 認定音楽療法士
新倉 晶子

【第6回】 2005年2月20日(日)

14:00~16:00

《健常者の音楽療法》
聖徳大学講師
古平 孝子

【第7回】 2005年3月6日(日)

14:00~16:00

《統合失調症と音楽療法》
聖徳大学教授 医学博士
村井 靖児

【受講料】/ 当日受付 各回1回 1,500円
[全7回7,000円(受講申込時一括払)]

【会場】/ 聖徳大学1号館1419教室・1127教室など

聖徳大学音楽研究センターオペラ公演

シモン・ボッカネグラ

G.ヴェルディ作曲

2005年2月16日(水)

開場/17:00 開演/18:00

【会場】/ 聖徳大学川並香順記念講堂

【入場料】/ 1,500円

開演前に外山浩爾教授の解説がございます。(17:30~)

指揮: 高橋 大海
演出: 十川 稔
照明: 矢口 雅敏
副指揮: 高橋 誠也/大井 剛史

出演者
シモン・ボッカネグラ: 青戸 知
マリア・ボッカネグラ: 森岡 紘子(プロローグ、1幕)
: 宮部 小牧(2幕、3幕)
ヤコボ・フィエスコ: 黒木 純
カプリエレ・アドルノ: 志田 雄啓
パオロ・アルビアーニ: 宮本 益光
ビエトロ: 佐野 正一
アメリカの侍女: 加賀 ひとみ
隊長: 小原 啓樓
合唱: 聖徳オペラ クワイア
ピアノ: 山口 佳代/平塚 洋子

ご紹介の催しはすべて
聖徳大学音楽研究センター
主催です。

【催しのお問い合わせは】
聖徳大学音楽研究センター
事務局
〒271-8555
松戸市岩瀬550
Tel.047-365-1111
(内線3231~4)

お車でのご来場は
ご遠慮下さい。

セミナーハウスで思い出のひとつを!

「春日温泉 かすが荘(長野県北佐久郡望月町春日温泉)
「聖徳学園 山中湖荘(山梨県南都留郡山中湖村平野506)

本学園セミナーハウスではお得な宿泊プランを実施中です!(期間限定) 保護者、一般の方もどしどしご利用ください!

春日温泉かすが荘

新年会プラン 平成17年2月末日まで
ご夕食を寄せ鍋または牛シャブ からお選びいただける宿泊プラン!
在学・教職員 (寄せ鍋)通常料金・1,500円
卒業生・ご家族 (寄せ鍋)平日 7,800円~
(寄せ鍋)休前日 8,800円~
牛シャブをご希望の方は上記料金にプラス1,050円となります。

格安プラン(日帰り) 平成17年4月28日まで
オードブル料理でのご宴会と温泉のご入浴がセットになったプランです!
平日 3,000円
休前日 3,500円
親子プラン 5,000円
(保護者1名、お子様1名)

日帰りプラン 平成17年4月28日まで
寄せ鍋または牛シャブ からご食事をお選びいただける日帰りのご宴会と温泉のご入浴がセットのプラン!
平日 3,200円
休前日 4,200円
牛シャブをご希望の方は上記料金にプラス1,050円となります。

温泉保養プラン 平成17年4月28日まで
65歳以上の方を対象とした寄せ鍋プランです!
平日1泊2食 7,000円~
平日2泊5食 14,000円~

聖徳学園山中湖荘

特別キャンペーン 平成17年3月31日まで
在学生や教職員のご家族・卒業生・その同伴の方にご利用いただけます。ご家族の方や卒業生の方は通常よりお得な料金でご利用いただけます。

紹介キャンペーン 平成17年3月31日まで
本学園の関係者からの紹介により利用される方が対象となります!通常より先全てお得な料金でご利用いただけますのでどうぞご利用ください!

1泊2食 6,500円 (平日・休前日共通)
1泊2食 7,000円 (平日・休前日共通)

セミナーハウスに関するお問合せ
「かすが荘」と「山中湖荘」では各種特別プランをご用意して皆様方のご利用をお待ちしております。各プランにより特典が異なる場合がございます。詳細は下記へお問合せください。

各セミナーハウス
かすが荘フロント TEL:0267-52-2111 FAX:0267-62-2119
山中湖荘フロント TEL:0555-62-3111 FAX:0555-62-3112

本学園セミナーハウス窓口
理事長室企画渉外課第3グループ
TEL:047-365-1111(内3962~3)

▶ 本学園ホームページからも詳細をご覧いただけます。 <http://www.seitoku.ac.jp/>

表示価格は全て税込価格となっております。

聖徳大学通信教育部

通信教育の大学で新しい自分、実現しませんか?

大学通信教育部人文学部
短期大学部通信教育部

願書受付期間 四月生
入学選考は書類審査のみ
平成十七年一月二十日(木)~五月十日(火)

大学院児童学研究科
願書受付期間 四月生 B日程
選考日 四月生 B日程
平成十七年三月十三日(日)
平成十七年三月十三日(日)
お問い合せ 聖徳大学通信教育部
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 ☎047-365-1100(直通)
ホームページ <http://www.seitoku.ac.jp/tsushin/> Eメール tsushin@seitoku.ac.jp

社会福祉学科、児童学科、英米文化学科、日本文化学科
保育科
平成十七年三月十三日(日)~三月九日(水)

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073
東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭
編集 理事長室 企画渉外課
05.21.16 (32.)



この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。



学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましては今回よりインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。今後、ますます充実させていきたいと思っております。是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートURL <http://www.seitoku.ac.jp/flash/index.html>

ご意見・ご感想の宛先

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
FAX. 047-363-1401 Eメールアドレス pub@seitoku.ac.jp